

保険年金

3 国民年金保険料
産前産後期間は
免除されます

出産予定日か出産月の前月から4カ月間(多胎妊娠の場合は最大6カ月間)、国民年金保険料が免除されます。申請が必要です。

対 国民年金第1号被保険者で、
出産日が平成31年2月以降の人

申 出産予定日の6カ月前～

申・問 保険年金課(1階)

☎561-2367、☎561-2480

日本年金機構草津年金事務所
(西渋川一)

☎567-2220、☎562-9638

4 国民年金保険料
免除・猶予の申請受付

経済的な理由などで、国民年金保険料を納付することが困難な場合は、申請をして承認されると、保険料の納付が免除・猶予される制度があります。令和3年度分(7月～来年6月)の手続きは、7月1日(木)から受け付けます。

対 免除 本人・配偶者・世帯主の前年所得が一定額以下の人

猶予 50歳未満で、本人と配偶者の前年所得が一定額以下の人(世帯主の所得は対象外)

他 新型コロナウイルス感染症の影響による、減収を事由とする国民年金保険料免除については、日本年金機構のホームページをご覧ください

申 7月1日(木)～

申・問 保険年金課(1階)

☎561-2367、☎561-2480

日本年金機構草津年金事務所
(西渋川一)

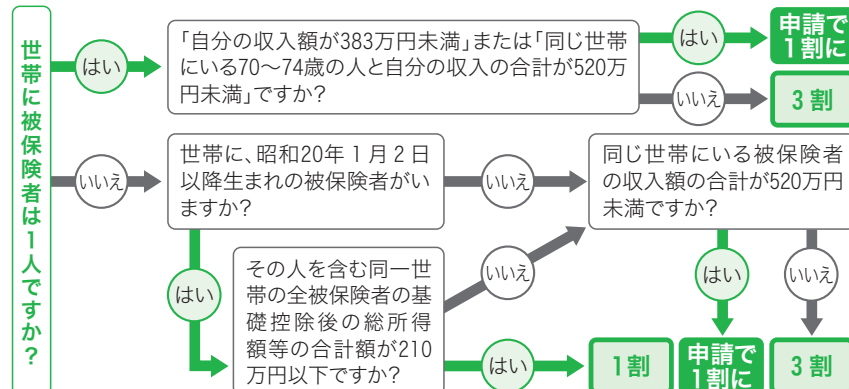
☎567-2220、☎562-9638

1 後期高齢者医療制度
被保険者証の送付と負担軽減の申請受付75歳以上
対象

◇8月からの被保険者証を送ります

現在交付している被保険者証(うぐいす色)の有効期限は、7月31日(土)です。7月中に、新しい被保険者証(びわ色)を簡易書留郵便で送ります。8月～来年7月に医療機関で支払う負担割合(1割、3割)は、被保険者証に記載しています。令和3年度市民税課税所得が、145万円以上の被保険者本人や、同じ世帯の被保険者の負担割合は、3割です。

◇負担割合が3割の人のうち、次に該当する場合は申請すると1割負担に



※申請には、令和2年中の収入額が分かるもの(確定申告書の控えなど)が必要です

◇該当する人には限度額証を交付

医療機関で提示すると、支払いが限度額までになったり、非課税世帯の人は入院時の食事代が減額されたりします。(交付には申請が必要)

【新しく交付を希望する人】

交付を受けられるのは、住民税非課税世帯の人、住民税課税所得が145万円以上690万円未満の人です。新たに75歳になる人で、申請可能な人には、申請書を同封しています。それ以外の人については、保険年金課の窓口へお越しください。(申請時に必要なものについては、お問い合わせください)

【既に限度額証を持っている人】

7月31日(土)に有効期間が切れます。8月以降も該当する人には、被保険者証と一緒に新しい限度額証を送ります。限度額証の適用区分が「区分II」の人は、入院日数により、申請すると食事代がさらに減額される場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

申・問 保険年金課(1階) ☎561-2358、☎561-2480

県後期高齢者医療広域連合(大津市) ☎522-3013、☎522-3023

2 国民健康保険
被保険者証(兼高齢受給者証)の更新

現在の被保険者証(兼高齢受給者証)の有効期限は7月31日(土)です。新しい桃色の被保険者証(兼高齢受給者証)は7月下旬頃に送付します。

問 保険年金課(1階) ☎561-2366、☎561-2480

はしかわ市長の **だいすき!くさつ**

気象庁の季節予報によりますと、今年の滋賀県の夏の気温は、平年並または上がる確率が高い予報となっています。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、マスクの着用をお願いしていますが、こまめな水分補給や、周囲との距離を十分取った上で時々マスクを外すなど、熱中症にも気を付けていただきたいと思います。

新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、65歳以上の方の接種を進めています。先月7日から各医療機関においても、個別接種を開始していただいていますので、接種が可能かどうかご確認ください。また、予約が取れなかった市内に住民票がある方には、接種希望調査を郵送していますので、調査票の返信をお願いします。今後も、ワクチン接種を希望される全ての65歳以上の方が7月末までに接種いただけるよう努めてまいります。また、8ページでご案内していますとおり、16歳から64歳までの方の接種につきましても、今月7日に接種券を発送します。まずは、基礎疾患のある人や高齢者施設などの従事者について優先予約期間を設け、

その後、年齢区分に応じて順次予約の受付を開始します。また、接種会場を増やすなど、接種体制を整えてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

今年、史跡草津宿本陣は一般公開25周年を迎えました。現存する国内最大級の本陣である草津宿本陣(田中七左衛門本陣)は、明治時代以降全国各地の本陣が消えゆく中で、郡役所や公民館としても使用され、田中家によって代々大切に受け継がれ、昭和24(1949)年に国史跡に指定されました。その後、平成元(1989)年からの保存整備工事を終え、平成8(1996)年から一般公開を開始し、当時の面影を今に伝えています。今回、特別展を7月17日(土)から8月29日(日)まで開催しますので、ぜひお越しください。詳しくは2・3ページをご覧ください。

先月、東京オリンピックに関連して、本市にゆかりのある3選手の出場が発表されました。バドミントン男子シングルの常山幹太選手、女子10mエアライフルの中口遥選手、競泳女子個人メドレーの大橋悠依選手です。これまでの練習の成果を存分に発揮し、ご活躍されますことを期待しています。

広がれ!はっぴー・ぼうさい

第4回

問 危機管理課(1階)
☎561-2325、☎561-6852

草津の防災力、どんどん高めていきましょう

関西大学 社会安全学部 近藤ゼミ

ラジオえふえむ草津で放送している「Happy BOUSAI」は、この7月で、シリーズ通算第100回の記念を迎えます。長く続いたことを喜びながらも、あくまでも通過点、これからも粘り強く取り組んで、市の地域防災力アップに貢献していきます。

ところで、こうして放送を重ねてくると「よくまあ、話題がもちますね」、「一体何をそんなに伝えているのですか」という質問をもらいます。ここで少しだけ過去の放送を振り返ってみると、大阪府北部地震(平成30(2018)年6月18日)の経験や、琵琶湖西岸断層帯地震の対策の話、そして気象災害(台風・豪雨など)の話題が多くを占めていました。

その他、季節に応じて、春の花粉症や紫外線対策、夏の熱中症や食中毒対策、秋冬の感染症対策などもありました。暮らしの安全・安心に結び付く話題は、誰

にとっても必要なことです。「常に備えよ」の精神で、皆さんの心に定着するように伝え続けています。

しかし「防災」は堅苦しいものですが、実は放送には2つの“仕掛け”が施されています。1つは、被災地で心を励ましてくれる「復興支援ソング」の紹介です。東日本大震災時も、たくさんの歌が生まれました。そしてもう1つは「防災川柳」の紹介です。五・七・五で防災に関する思いやひらめき、ぼやきを詠み合っています。皆さんも、ぜひ力作を投句してください。防災に対する心のハードルが下がるはずですよ。最後に、番組で紹介した小学生の優秀作を紹介しておきましょう。

防災は 受け継がれていく 未来へと

Happy BOUSAI ラジオえふえむ草津(FM78.5MHz)
第1・3火曜日12:00～

